

個人の尊重と日本国憲法 「日本国憲法と基本的人権」

本単元で育成する資質・能力

論理的・建設的批判能力, 主体性・積極性
コミュニケーション能力

1 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、授業を真面目に受け、活発に発表する生徒が多く見られる。しかし、発表の多くは一答一問に対する答えであり、自分の考えを述べる問いに対して発表する生徒は少ない。また、資料の読み取りやグラフの読み取り、自分の考えや意見をまとめることにも課題が見られる。したがって授業では、基礎的・基本的な知識の習得だけでなく、適切に資料やグラフを読み取りまとめる力や自分の考えを文章にまとめる力を身に付けられるようにしていくことが必要である。

次の表は、歴史的分野の既習内容と人権を保障する権利に関するアンケート調査の結果である。

①	日本国憲法の三つの基本原則を答えなさい。	全て答えられた：8名 いくつか誤答：5名 すべて無答：2名 いくつか無答：3名（3名とも誤答もあり）
②	「統治論」を著し自然権思想と社会契約説を説いたイギリスの思想家を答えなさい。	正答：0名 誤答：7名 誤答例（ルソー、ルター、レーニン） 無答：11名
③	1919年にドイツでつくられた社会権を保障した憲法を答えなさい。	正答：8名 誤答：0名 無答：10名
④	国民の義務を答えなさい。	全て答えられた：2名 いくつか誤答：3名 誤答例（政治の義務、選挙の義務、人権の義務） すべて無答：3名 いくつか無答：10名（うち5名は誤答もあり）
⑤	あなたが知っている人権を保障するための権利を答えなさい。	・平等権 ・社会権 ・自由権 ・相続権 ・教育を受ける権利 ・選挙権 ・こどもの権利

①～③の問は、既習内容であるが正答数が半数以下であった。②のイギリスの思想家を答える問については、正答した生徒がいなかった。④の国民の義務の問については、子どもに普通教育を受けさせる義務、納税の義務を回答できる生徒は多く見られたが、勤労の義務を回答できた生徒は少なかった。⑤のあなたが知っている人権を保障するための権利の問では、平等権や社会権、自由権といった歴史で学習した回答が多く見られた。また、選挙権については、平成28年6月19日に施行された改正公職選挙法にかかわる話題がマスメディアで多く取り上げられたことも影響していると考えられる。一方で、本単元で学習する新しい人権、参政権についての回答は見られなかった。これらの結果から、歴史的分野・公民的分野とも基礎的・基本的な知識を身につけることが必要である。

(2) 単元観

本単元は、学習指導要領【公民的分野】の内容「(3) 私たちと政治」の「ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」にあたり、「人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。」ことと示されている。

本単元では、前段の「人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせる」ことをねらいとしており、平等権や自由権、社会権、新しい人権等の権利が、なぜ重要なのか具体的な生活との関わりを通して理解を深め、国民主権を担う公民として必要な教養（知識・能力・態度）の基礎をつくるものである。また、基本的人権は「誰もが生まれながらにして持っている権利」という考え方が根底にあり、歴史の中で権利の獲得を求めて努力されてきたことである。そして、日本国憲法第11条に「基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と定められている。

これらを学習する中で、資料映像や新聞記事などから実際の判例や身近な事例について考察していくことになり、その過程で課題や目的に対する自分の考えをまとめていくことを通して、人権を大切にしようとする態度を育成することができる。

(3) 指導観

指導にあたっては、生徒が主体的に学習に取り組み、思考力、判断力、表現力等を育むために言語活動を充実させたい。そのために学習課題に迫るための様々な資料を提示し、「自ら学び、自ら考え、主体的に判断する」場面を取り入れた学習展開を考えていく。

本単元では、基本的人権は、「誰もが生まれながらにして持っている権利」という考え方が根底にあり、歴史の中で権利の獲得を求めてきた人類の努力の成果であることに気づかせたい。また、一人ひとりの人間がかけがえのない存在として尊重される人間の尊重の考え方は、民主社会においてすべての人間に保障されるべき普遍的な価値をもつ基本的人権の中心であるということを理解させ、そして、基本的人権が保障される社会の実現を目指そうとする態度を育成したい。

本時については、「なぜ、政府は男女共同参画社会の実現を目指しているのか説明しよう。」という課題に対して、知識構成型ジグソー法の手法を用いた授業を展開する。「A. 女性の仕事への参加」、「B. 男性・女性の意識」、「C. 地域活動」の資料を提示し、エキスパート活動とジグソー活動を通して、本時の課題解決に取り組ませる。そして、クロストーク活動を通して再度、課題に向き合わせたい。これらの活動を通して、本時の目標である「男女共同参画社会を実現するための問題点と解決について考え、自分の考えを説明することができる。」ことを達成させたい。

2 単元の目標

- 基本的人権獲得の歴史を理解し、日本国憲法の人権保障を理解することができる。
- 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。
- 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えることができる。

3 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象につい ての知識・理解
①人権思想のあゆみや、日本国憲法の基本的人権に関する内容を確認し、個人の尊重に対する関心を高め意欲的に学習しようとしている。 ②参政権や請求権などの内容を理解し、どのように人権を保障しているのかについて考え、関心を高めることができる。	①自由権が三つの柱からなっており、それぞれの内容が日本国憲法によって保障されていることを関連付けて考えている。 ②男女共同参画社会を実現するための問題点と解決について考え、自分の考えを説明している。 ③新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。	①現在もなお存在する差別について調べ、平等な社会を実現させるために何ができるかレポートにまとめている。 ②公共の福祉によって人権が制限される場合を具体的に検討し、自分の考えをレポートにまとめている。 ③基本的人権の保障について、前時までに集めた情報や分析したことをもとに、意見をまとめ発表することができる。	①平等権とはどのような権利なのか考え、その意義を理解している。 ②社会権が、私たちの生活をどのように保障しているのか各権利について理解している。 ③環境権や国際的な人権保障の取り組みがどのようなものかを理解している。

4 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい能力は、①コミュニケーション能力 ②論理的・建設的批判能力 ③主体性・積極性 ④回復力・耐える力 ⑤自らへの自信 ⑥高い志 の6つである。

協調学習の手法である知識構成型ジグソー法を用いて、課題解決に向けて生徒が主体的に取り組むことで③「主体性・積極性」を育成できると考える。また、自分の考えを仲間と議論し思考を深めていく活動を通して①「コミュニケーション能力」と②「論理的・建設的批判能力」を育成できると考える。

5 単元の指導計画（全11時間）

次	学習内容	時 数	評価の観点				評 価	
			関	思	技	知	評価規準【評価方法】	資質・能力 の評価
1	課題の設定情報の収集 1人1人の個人を尊重するために、どのような権利があるのか調べよう。 ○「人権思想のあゆみと日本国憲法」	1	◎				ア①人権思想のあゆみや、日本国憲法の基本的人権に関する内容を確認し、個人の尊重に対する関心を高め意欲的に学習しようとしている。 【行動観察・ワークシート】	

2	情報の収集 ○「自由に生きる権利」	1		◎		イ①自由権が三つの柱からなっており、それぞれの内容が日本国憲法によって保障されていることを関連付けて考えている。 【行動観察・ワークシート】	
3	情報の収集 ○「等しく生きる権利①」	1			◎	エ①平等権とはどのような権利なのか考え、その意義を理解している。 【行動観察・ワークシート】	
4	情報の収集整理・分析 ○「等しく生きる権利②」	1 (本時)		◎		イ②男女共同参画社会を実現するための問題点と解決について考え、自分の考えを説明している。 【行動観察・ワークシート】	①・②
5	情報の収集整理・分析 ○「差別のない社会へ」	1			◎	ウ①現在もなお存在する差別について調べ、平等な社会を実現させるために何ができるかレポートにまとめている。 【行動観察・レポート】	①・②
6	情報の収集 ○「人間らしい生活を営む権利」	1			◎	エ②社会権が、私たちの生活をどのように保障しているのか各権利について理解している。 【行動観察・ワークシート】	
7	情報の収集 ○「人権の保障を実現するための権利」	1	◎			ア②参政権や請求権などの内容を理解し、どのように人権を保障しているのかについて考え、関心を高めることができる。 【行動観察・ワークシート】	
8	情報の収集 ○「社会の変化と人権保障」	1		◎		イ③新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。 【行動観察・ワークシート】	②
9	情報の収集 ○「広がる人権保障」	1			◎	エ③環境権や国際的な人権保障の取り組みがどのようなものかを理解している。 【行動観察・ワークシート】	

10	情報の収集整理・分析 ○「公共の福祉と国民の義務」	1		◎	ウ②公共の福祉によって人権が制限される場合を具体的に検討し、自分の考えをレポートにまとめている。 【行動観察・レポート】	②・③
11	まとめ振り返り 個人の尊重を守るために、社会の変化と共にさまざまな権利が生まれてきた。	1		◎	ウ③基本的人権の保障について、前時までに集めた情報や分析したことをもとに、意見をまとめ発表することができる。	②・③

6 本時の学習指導について

(1) 題材名 「等しく生きる権利」

(2) 本時の目標

○ 男女共同参画社会を実現するための問題点と解決について考え、自分の考えを説明することができる。

(3) 本時の評価規準

○ 男女共同参画社会を実現するための問題点と解決について、「A. 女性の仕事への参加」、「B. 男性・女性の意識」、「C. 地域活動」に着目しグループ活動や全体交流を通して考え、自分の考えを説明している。

(4) 本時の展開

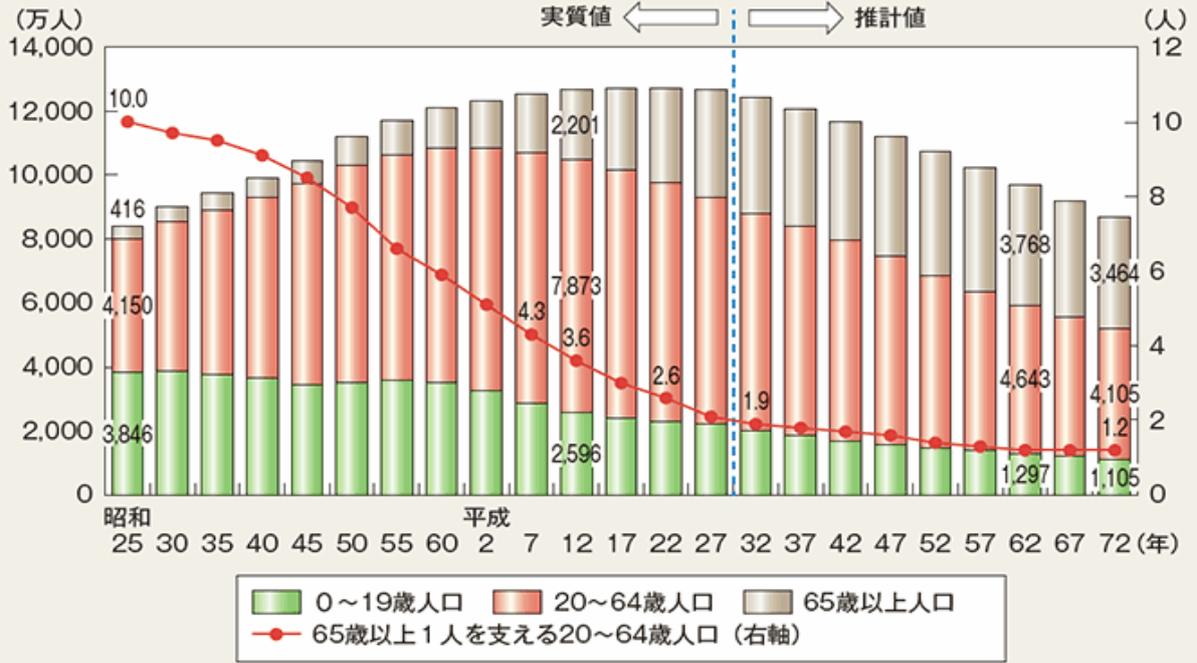
過程	学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆支援を必要とする生徒への手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)	資質・能力の評価
導入	1 前時の振り返り ・平等権を振り返り、本時の内容に対する興味を引き出す。 2 本時のめあて(学習課題)を確認する。	◇男女共同参画社会基本法や内閣府男女共同参画局の資料などを使って、本時の内容に興味を持たせる。 ◇「現在、男女共同参画社会基本法は推進されている？」と問いかけ、「そもそも、なぜ政府は男女共同参画社会を目指すのか？現在の社会の問題点とその解決を考えて説明しよう。」と課題を提示する。		
	・課題に対する予想をワークシートへ記入する。			

<p>展 開</p>	<p>3 3つのグループにそれぞれ異なる3つの資料を提示する。(エキスパート活動)</p> <p>「A. 女性の仕事への参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国よりも女性の管理的職業に就いている人の割合が少ない。 ・日本は出産・育児のためこの時期の労働力率が下がっている。 ・GDPの高い国は、グラフ1とグラフ2の数値が高い。 ・女性が育児の時期にも働けるようにしていく。 <p>「B. 男性・女性の意識」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を優先の項目が男女で大きな差がある。 ・男性は、仕事を優先する項目が希望と現実で大きな差がある。 ・男性も女性も仕事と家庭を両立させたいと考えているが現実には難しい。 ・男性は育児休業を取得している割合が女性よりも大きく下回っている。 ・育児に関する男性と女性の意識の差があるため。(男性は仕事、女性は家事や育児) ・男性も家事や育児の時間がとれ、子どもと多くの時間を過ごすことができる。 ・女性の家事・育児の負担が減る。また仕事をする時間が増える。 ・一緒に遊んだり、旅行をしたり両親と過ごす時間が増える。 <p>「C. 地域活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸太田町のPRや町の活性化のために行われるようになった。 ・多くのボランティアの人で成り立っており、ボランティアがいなければ開催できない。また、町を活性化する機会を失う。 ・地域活動に参加している人の割合が少ない。多くの人に参加することで交流が増えコミュニケーションが図られるようになり活気ある地域になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆机間指導を行い必要に応じて支援を行う。 ◇3人で協力して、資料から読み取れることを話し合い、ワークシートへまとめる。 ◆グループで読み取った情報を3人で共有し、ジグソー活動で説明できるようにさせる。 	<p>相手に自分の考えを積極的に伝えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (行動観察・ワークシート)</p>	<p>①・③</p>
----------------	--	--	---	------------

展 開	<p>・祭りなどがなくなるのはさびしいし活気を失う。</p> <p>4 グループを再編し、異なる3つの資料を合わせて考察する。(ジグソー活動)</p> <p>5 各グループの考えを交流する。(クロストーク)</p>	<p>◇エキスパート活動で話し合った情報を説明しあう。</p> <p>◇全グループが順番に、課題に対する考えを説明しあう。その際、お互いの説明に対して、質問や評価をするように指示し、考えを深めさせる。</p> <p>◇切りかえし発問として、生徒の説明に対して「どこがいいのか?」「なぜ、必要なのか?」と問いかけ、思考を深める。</p>	<p>3つの資料から読み取れることを踏まえて考えを説明している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>	
	<p>期待される生徒の課題への答え</p> <p>・多くの国民がより充実した生活を送るためには、国や地域を豊かな社会にしていくことが重要である。そのためには、男性も女性も互いに協力(尊重)し合い、あらゆる場面(仕事・家事・育児・地域活動等)で活躍できる社会にしていく必要がある。だからこそ政府は、男女共同参画社会を実現しようとしているのだと考える。</p> <p>期待される生徒の課題の答えに対する根拠</p> <p>・現在の日本は、少子高齢化にともない国内の経済、地域の活性化がひとつの課題となっている。女性の活躍、夫婦での仕事・家事・育児、男性・女性(大人と子ども)の地域活動への参加を推進していくことで、これらの課題が改善される。改善されることで多様な活動を男女が自らの希望に沿った形で展開でき、夢や希望を実現させることが可能になると考える。</p>			
ま と め	<p>6 本時のまとめ</p> <p>7 本時の振り返りと次時の予告を行う。</p>	<p>◇本時の課題に対する自分の考えをワークシートへ記入させる。</p>		

資料：A

I-特-1図 1人の高齢者を支える現役世代の人数の推移



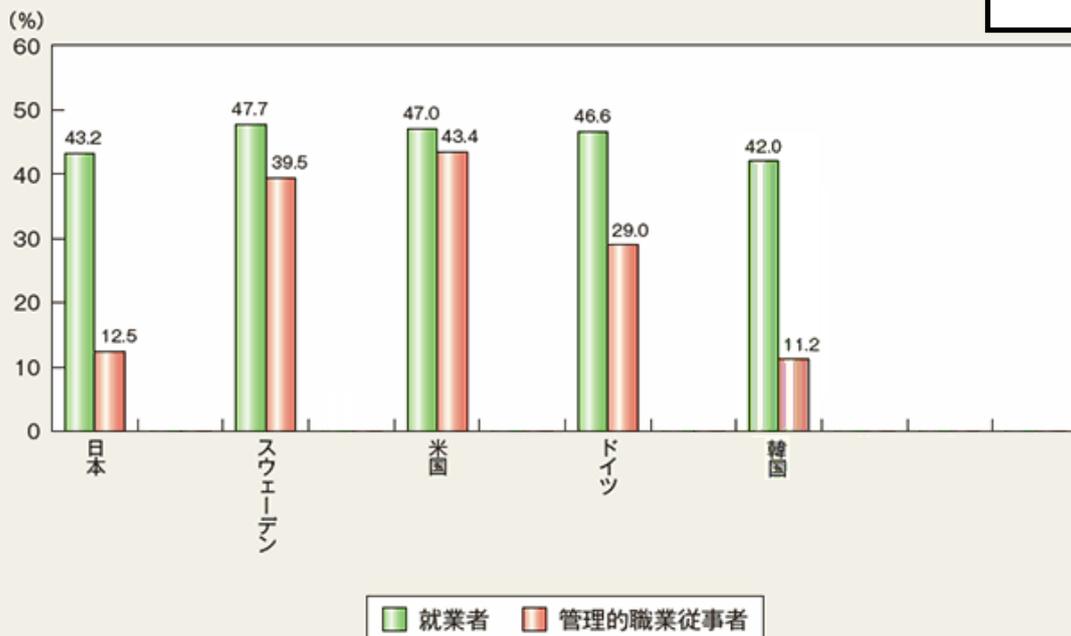
Q. グラフを見ると少子高齢社会が抱える次のような課題が見えてきます。

- ①人口が減少傾向にあること
- ②高齢者1人を支える20~64歳人口の負担が年々増加していること
- ③少子高齢社会が進むと福祉に占める予算の割合がふくらむこと

これらの課題を改善するための1つのヒントが次のグラフ1~グラフ3です。質問に答えながら改善策について考えてみましょう。

I-2-13図 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合（国際比較）

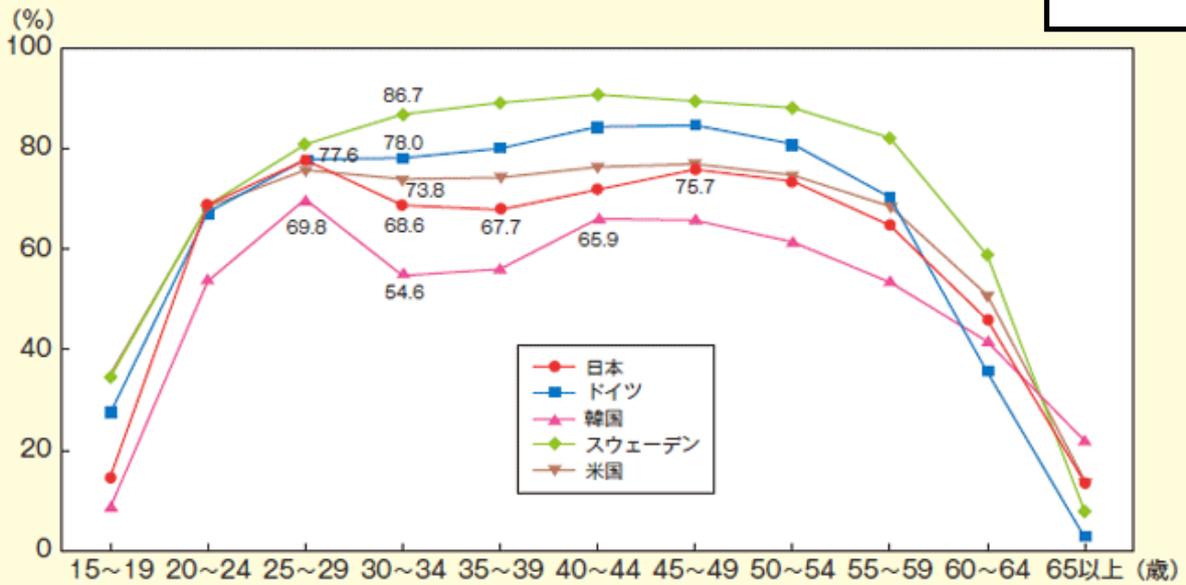
グラフ1



Q. 世界各国と日本を比較して分かることは何ですか？

第1-2-3図 女性の年齢階級別労働力率（国際比較）

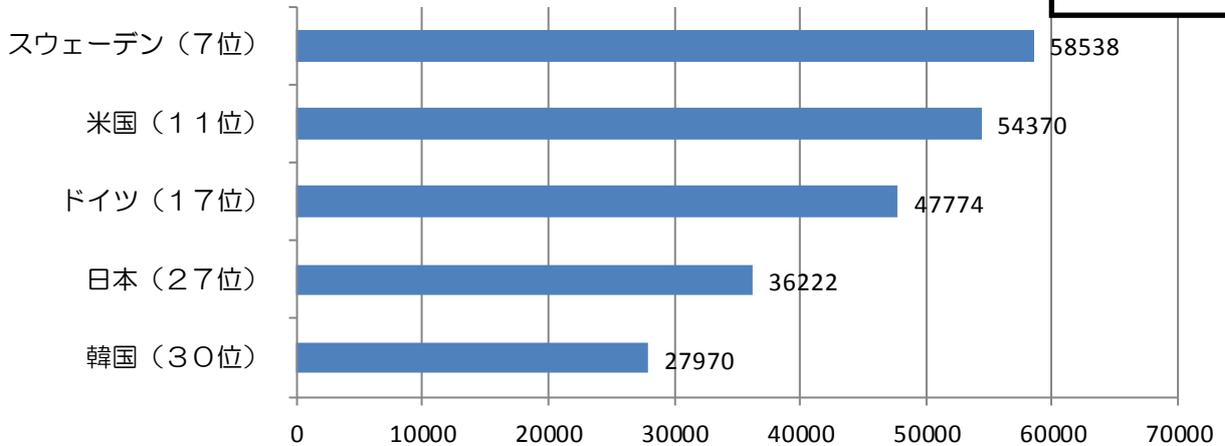
グラフ2



Q. 日本の女性の労働力率が30~44歳の間で下がっているのは、なぜだと思いますか？

1人あたりGDP（単位：ドル）2014年

グラフ3

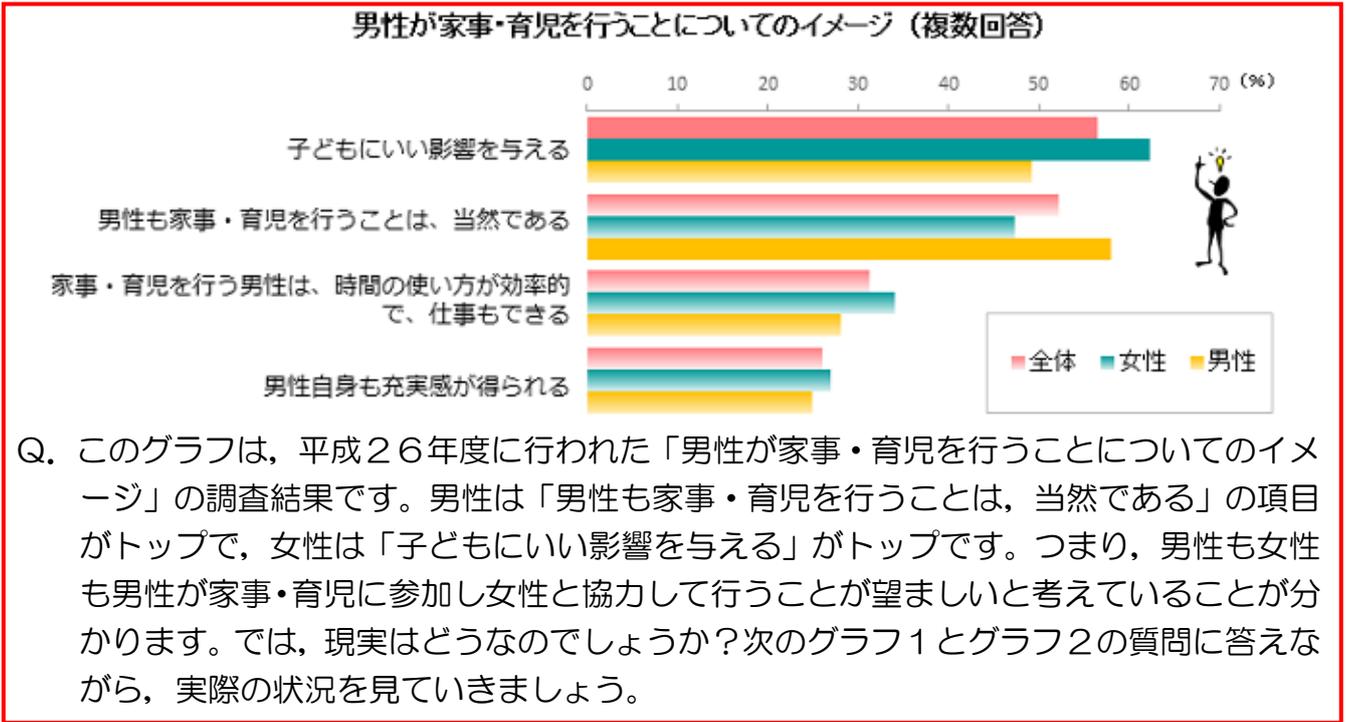


※GDPとは、1年間に国内で新たに作り出された財・サービスの付加価値の合計額のこと。

Q. グラフ3を見て、グラフ1とグラフ2に共通することは何ですか？

Q. 3つの問をふまえて、少子高齢社会が抱える課題の改善策を考えよう。

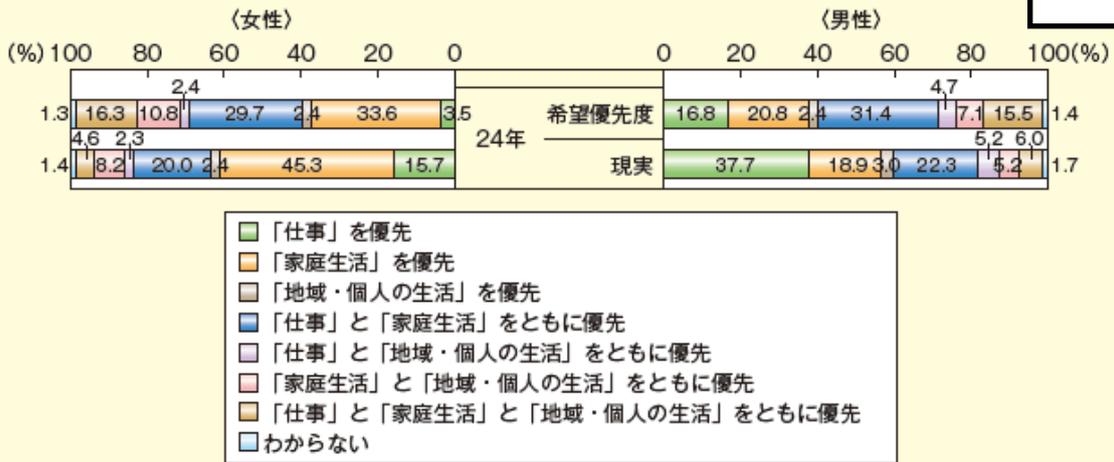
資料：B



Q. このグラフは、平成26年度に行われた「男性が家事・育児を行うことについてのイメージ」の調査結果です。男性は「男性も家事・育児を行うことは、当然である」の項目がトップで、女性は「子どもにいい影響を与える」がトップです。つまり、男性も女性も男性が家事・育児に参加し女性と協力して行うことが望ましいと考えていることが分かります。では、現実はどうなのでしょう？次のグラフ1とグラフ2の質問に答えながら、実際の状況を見ていきましょう。

1-特-27図 仕事と生活の調和に関する希望と現実の推移（男女別、24年）

グラフ1



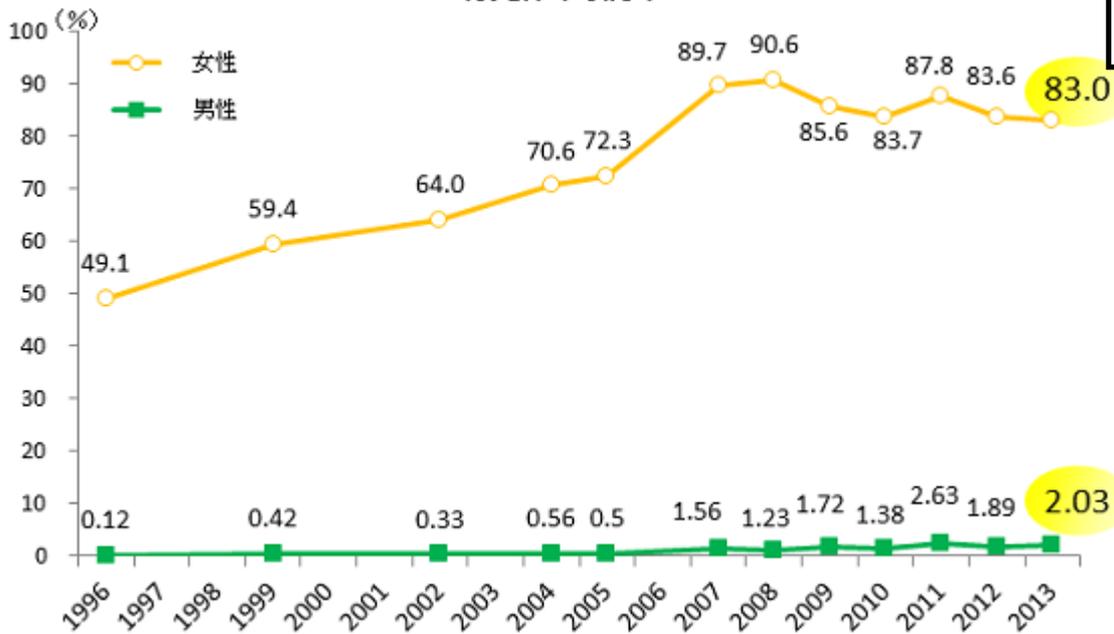
Q. 男性と女性を比較して、大きな差がある項目はどれですか？

Q. 男性のグラフを見て、希望優先度と現実とで数値が大きく違うのはどの項目ですか？

Q. 男性と女性のグラフを見て、現実の数値が希望優先度の数値から大きく減少している項目はどれですか？

育児休業取得率

グラフ2

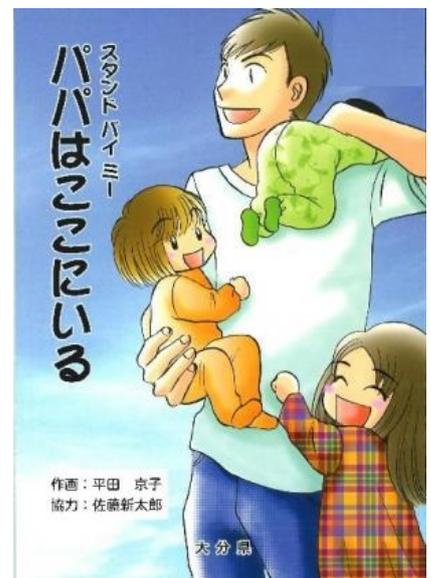


Q. グラフから分かることは何ですか？なぜ、そのような状況になっていると考えますか？

分かること何ですか？	
なぜ、そのような状況？	

Q. もし男性が育児休業を取得して仕事を休んだら、どのようなメリットが生まれますか？それぞれの立場で考えてみましょう。

男性 (夫)	
女性 (妻)	
子ども	



資料：C

日本全国を見渡すと、毎日のようにどこかの地域でイベントが行われています。例えば、安芸太田町には、つぎのようなイベントがあります。

- ①納涼加計まつり
- ②吉水園一般公開
- ③殿賀花田植え
- ④世界イグルー選手権
- ⑤三段峡ホテルまつり
- ・・・

この他にも30を超えるイベントが行われています。なかでも一大イベントといえば、「安芸太田町しわいマラソン」です。

みなさんは、「安芸太田町しわいマラソン」を知っていますよね？しかし、「安芸太田町しわいマラソン」がどのように運営されているかまでは、知らないと思います。そこで、少し「安芸太田町しわいマラソン」について話しをしたいと思います。気になるところに線を引ながら読んでみましょう。



「安芸太田町しわいマラソン」

①取り組みの背景

安芸太田町は、中国地方ワーストの人口減少率、広島県最少人口、そして高齢化率県内1位と、過疎化かつ高齢化が課題となっている。このような状況の中、全国に向けての安芸太田町のPRや地域の活性化、合併した旧3町村全体を巻き込んだ取組による一体感を次第に作り上げることなどをねらいとして、『安芸太田しわいマラソン』が開催されることになった。

②運営体制

実行委員会には、体協等の町内の各種団体、町観光協会、太田川森林組合、自治振興会連絡協議会、町消防団、広島市農協、行政（国・町）等が参画している。また、大会当日は、コース沿線の自治振興会、企業、加計高校生・中学生、県内数大学の学生ボランティア等によるエイドステーション（無料飲食物提供所）運営や、安芸太田町消防団による交通整理など、多くのボランティアが運営スタッフとして協力し、全町を挙げたイベントとなっている。（エイドステーションは20か所を超える）

③取り組みの成果

- ・選手と地域との交流が、地域に元気を与えるとともに選手もリピーター化している。
- ・町内外の個人、団体、地域、企業、行政が運営しているこの「安芸太田しわいマラソン」は、町が進める「協働のまちづくり」の姿を具体的に実現したものと見え、他の事業（イベントや地域活動等）を進めるにも良い効果が表れつつある。

Q. 「安芸太田町しわいマラソン」は、なぜ、行われるようになったのですか？

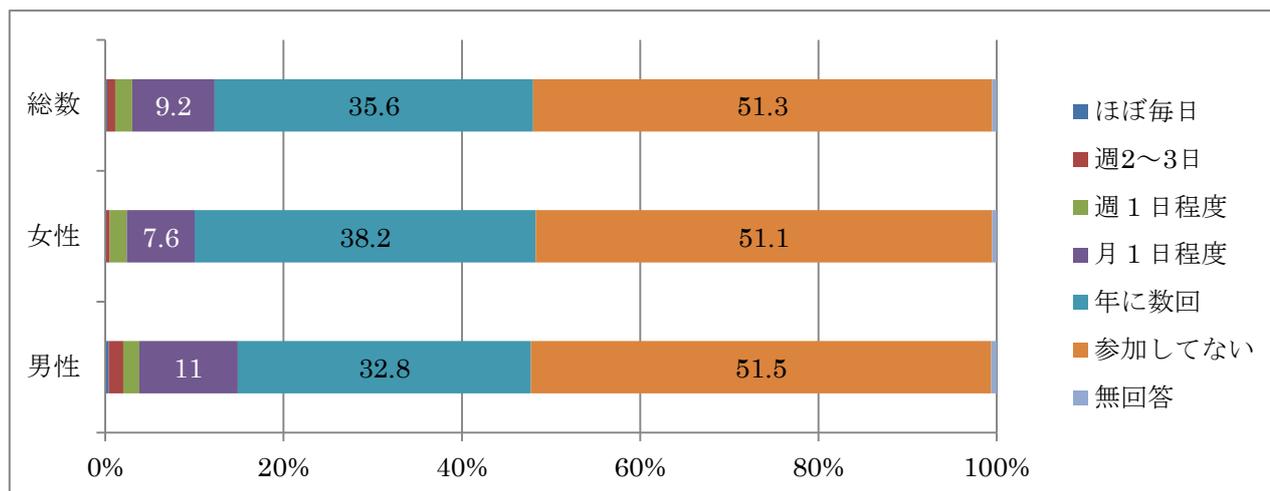
Q. 「安芸太田町しわいマラソン」を行うことができているのは、どのような人たちの力が大きいですか？また、その人たちがいなかったらどのような影響がでると思いますか？

どのような人たち

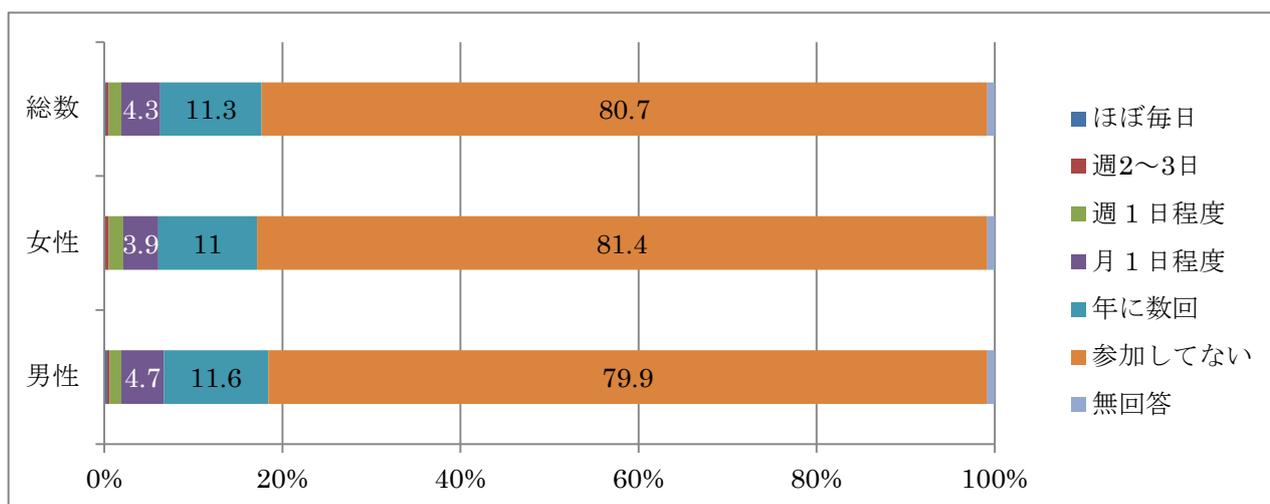
その人たちがいなかったら

地域活動（清掃活動、防犯・防災、スポーツ・文化活動等）への参加状況（日本全国）

1. 「町内会・自治会」の地域活動への参加状況



2. 「NPOなどのボランティア・市民活動」の地域活動への参加状況



Q. 二つのグラフから分かる課題は何ですか？その課題を改善していくと地域にどのような効果があると思いますか？

課題	
改善	

Q. もし、安芸太田町から地域活動（清掃活動、防犯・防災、スポーツ・文化活動等）がなくなったら、あなたはどのように思いますか？また、どのような影響がでると思いますか？

あなたの思い	
影響	

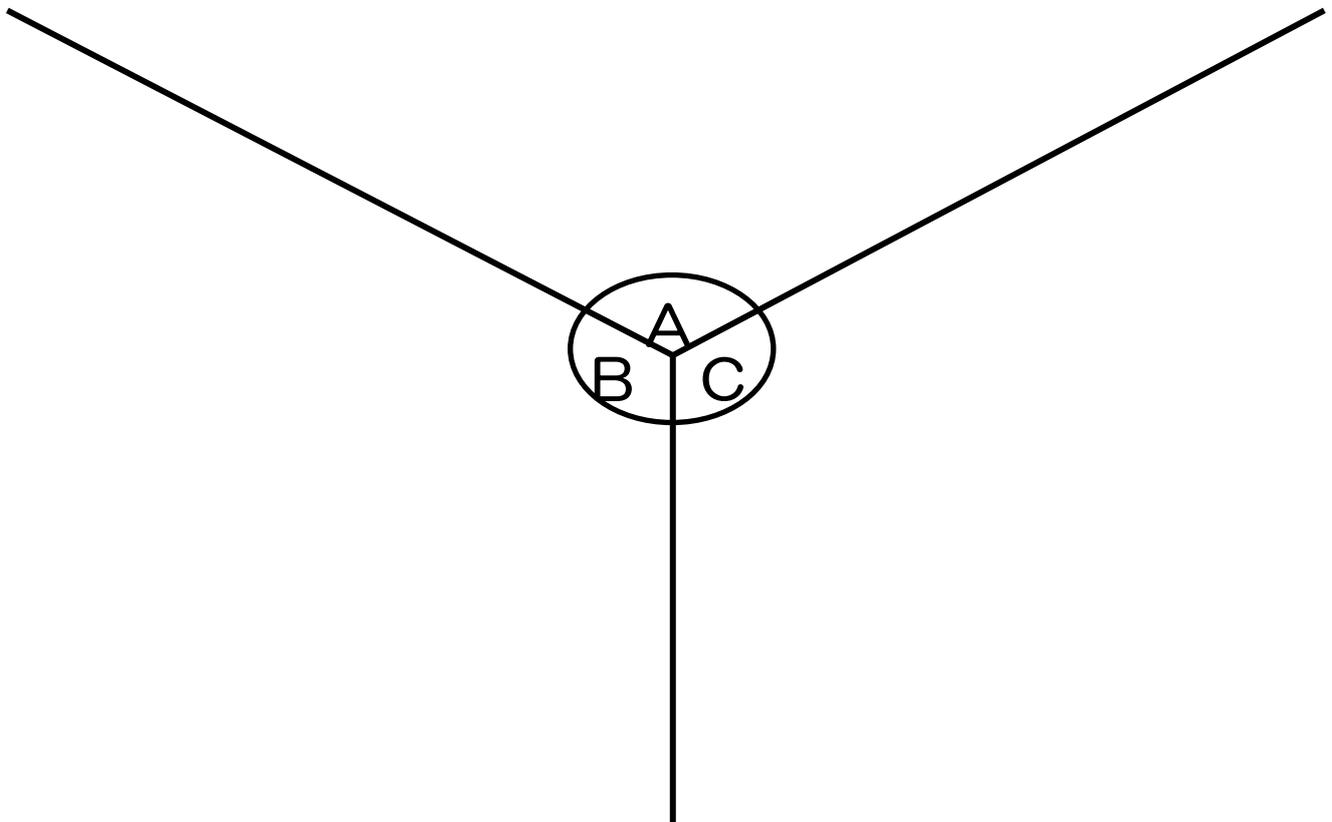
3年A組（ ）番 名前（ ）

等しく生きる権利(男女共同参画社会)

目標：男女共同参画社会とは、どのような社会なのか説明しよう。

Q. 男女共同参画社会とは、どのような社会ですか？

◆エキスパート活動



Q. グループでのまとめ

Q. 個人のまとめ